

見えたる手 京都支部 福井妙子

梅雨明けと共に、私達京都支部展が開催されました。今回はチャリティー展……と副題をつけての開催でした。会員思いの心で作品作りにはげみ、当日持ち寄ったのはバラエティーに富んでおりました。

そして六日間たのしい楽しい日々でした。多くの方々に見て頂き、当番していた私達も意義ある日々をおくることができました。そしてみんなの作品を見ながら、ああすればよいのか？こうすれば良いのかと色々勉強させて貰いました。

私は筆の使い方が一番興味ありましたのでこのような表現が出来るのかと真剣に盗み見したり、尋ねたりしました。自分でも実行しました。でも上手くは行きません。これからの自分の努力目標です。そんな時、ふと思いつきましたのが「見えたる手」という妙心寺の和尚様の言われた言葉でした。この手は手だけでなく心もすべて入っております。

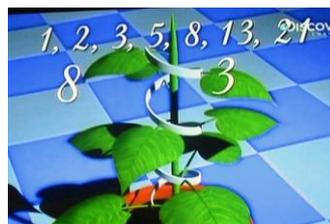
ある日、この和尚さまがタクシーに乗られ山の中の一本道で信号待ちをしている時、運転手さんが言われたそうです。「車は来ない。人こない。おまわりさんも見ていない。仏さまだけが見てござる」こんな時はいつも自分自身に言い聞かせているんですと。

私はこれを聞いた時、心にドンと来ました。そして自分の絵に対して、ああでもない、こうでもないといつももうろうろしている自分を感じました。

シリーズ 美とは？ 小高峯夫

ひとが自然界をどう知覚するかは幾何学と深くかかわっています。一〇二〇年にフィボナッチは不思議な数式を発見しました。

一月に一对のウサギを飼うと、二月には二対になります。三月には最初の一対だけが子供を産むため全部で三対になります。四月には最初の一対と二対目が同時に子どもを生み、合わせて五対に、五月には八対、六月には十三対……これをフィボナッチの数列と言います。どの数も前の数の合計になっています。

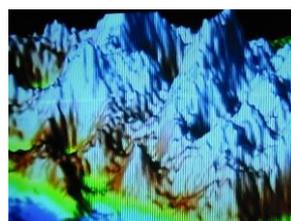
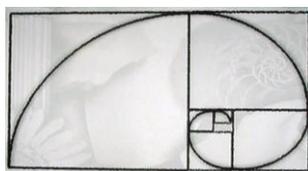


それだけではありません。植物の葉に注目してみよう。最初の葉の丁度真上に生えるのは全体の何番目の葉でしょうか？この植物の場合八番目でした。そしてその葉は茎の周りを三周した時に生えています。

1, 2, 3, 5, 8, 13, 21, 34, 55, 89, 144, 233, 377, 610, 987, 1597, 2584, 4181, 6765, 10946, 17711, 28657, 46368, 75025, 121393, 196418, 317811, 514229, 832040, 1346269, 2178309, 3542248, 5720517, 9273038, 14930357, 24214301, 39186679, 63496014, 102573233, 166069306, 268738541, 434807847, 703050589, 1137860905, 1840910494, 2978871409, 4816742314, 7795652729, 12614559043, 20399154267, 33013707281, 53417711544, 86431466801, 139845180085, 226266896929, 366112078114, 592368075043, 958534172172, 1550893247215, 2509467422387, 4060360669602, 6569853891989, 10630214561591, 17190578363570, 27820792975161, 45011367440751, 72832060415912, 117843853391503, 190635093807454, 308478947199366, 500135062996869, 808813956804413, 1308948915000382, 2117862871995795, 3426811786996177, 5544674658991972, 8971536530988167, 14518406200984149, 23490044780873946, 38008540980862113, 61498587180846069, 100007134060718165, 161505721241589864, 261512855302308033, 423018576543897897, 684531431846216062, 1107550008154624959, 1792081440001836056, 2900031458156461015, 4692081440001836056, 7592112900000000000

規則性のあるパターンは脳の発育や美的判断にも大きくかかわっています。パターンのない環境で育てられた動物には、脳の発育に変化が出ます。私たちは幼児期からパターンを目にし、それが美的感覚にも影響していると思われまます。

美しいパターンとはどういうものか定義することができません。テレビのテストパターンのように整然とし過ぎてても、ホワイトノイズのようにランダム過ぎててもダメです。その中間、秩序と混沌のバランスの中に在ります。一見無秩序のように見える世界も実は魅力的です。そこにある種の秩序があるからです。今まで私たちはそれを見過ごしていたのです。ランダムと思われていたものにも本当はパターンがある、それが最近ようやく分り始め



山脈を100キロ先から見ても1キロ先から見ても同じように見えます。基本的には同じ形状の繰り返しですが、不規則な中に見られる規則的な反復がフラクタルです。フラクタルは自己相似性を持つ形のことです。一部分を拡大しても細部がよく似ているわけです。たとえば植物の枝の分岐や人間の血管もそうです。少しずつ拡大しても同じパターンが反復されています。フラクタルに反復性がある以上数学的に作り出すことも可能です。

ピクオーバーはコンピュータグラフィックを使って自然界の形状によく似たフラクタルを創ります。パターンは混沌とした世界にも潜んでいることが分かって来ました。キヤニオン・デザインには自然の織り成す美の世界が広がっています。ナバホ族は科学者より前からパターンに注目してました。それは単なる模様ではなく世界の秩序や調和を示します。ナバホ族はそこに美を感じます。渓谷の壁面には垂直に伸びるものもあれば斜めのものもある。丸いものや曲がつて生えている低木、木立になつていたりもする。一見共通性がないがそこにはちゃんと自然の構図が描かれている。パラパラのようで実は調和がとれている。木や山を眺めていると色々なデザイン案が浮かんで来ます。自然の中に秩序が見えて来ます。ナバホ族の女性達は芸術性を意識するのではなく、自然から受けた感興を織物の模様に表示しているのです。(TV ディスカバリーChより引用)

て来たのです。ピクオーバーは「フラクタル」と呼ばれる新しいパターンを研究しています。細部と全体が相似したパターンです。

編集部より提案

自由投稿が皆無の状況です。投稿しやすくするためテーマを提案します。自分にとって「絵とは」「工芸とは」何か、又は油絵とは、水彩とは、茶器とは など、自分流の持論や経験を披露していただければと思います。ふるって投稿お願いします。

次回発行予定:平成24年 11月下旬 送り先:下記いずれにて可  
本部:小高峯夫 〒350-0824 埼玉県川越市石原町 2-53-6  
Mail: m-odaka@pop.kcv-net.ne.jp  
京都:四方公子 〒613-0032 京都府久世郡久御山町栄 2-1-77  
Mail: kimiko-shikata@kkd.biglobe.ne.jp  
広島:藤原清二 〒720-1131 広島県福山市駅家町万能倉 98-6  
Mail: i-boom@ms13.megaegg.ne.jp

\*原稿をお寄せ下さった方々に厚くお礼申し上げます。



小江戸の商魂 油彩 F30

会員の篠原正三さんが快挙  
第五回小江戸川越トリエンナーレ(川越商  
工会議所主催全国公募)において、「小江戸  
の商魂」30号が見事奨励賞に輝きまし  
た。  
展示…平成二十四年六月二十九日〜七  
月八日 川越市立美術館。入選率47%  
入賞率は1.6%という厳選でした。作品  
は川越市買い上げとなります。